

教育開発支援センターからのお知らせ

2013年度授業評価アンケート実施結果紹介

2011年度春学期にアンケートをリニューアルし、3年が経過しました。2011年度以前は60%程度の実施率が、リニューアル後には実施率80%前後に向上されました。2013年度春学期は82.4%、秋学期は80.2%となり、高い実施率を示しています。

2013年度からは、授業進度の都合により、13回目の授業中にもアンケートを実施したいという要望に対応するため、早めに配布するようにしました。

2013年度の春学期、秋学期結果は、インフォメーションシステム内の授業評価アンケートシステムから閲覧することができます。また、授業改善に活用出来る詳細な分析結果が記載された

「フィードバックシート」は、科目毎に閲覧することができますので、是非ご活用ください。
(CTL事務局)

[2013年度授業評価アンケート実施結果]

| 学期 | 内訳 | 実施対象科目 | 実施科目 | 実施率 ^{*1} | 回答率 ^{*2} |
|-----|------|--------|-------|-------------------|-------------------|
| 春学期 | 学部生用 | 4,231 | 3,486 | 82.39% | 63.93% |
| | 教員用 | 4,231 | 3,188 | 75.35% | — |
| 秋学期 | 学部生用 | 3,985 | 3,197 | 80.23% | 58.60% |
| | 教員用 | 3,976 | 2,974 | 74.80% | — |

*1 実施科目 ÷ 実施対象科目

*2 有効調査票枚数 ÷ 実施科目履修者数



教育開発支援センターでは、高等教育に関する様々な書籍をご用意致しております。市販の図書に加え、各大学の紀要や報告書等も充実しております。閲覧・貸出は自由ですので、お気軽にお越しください。ご推薦頂ける書籍等も隨時受け付けております。

教育開発支援センター(千里山キャンパス第2学舎1号館1階)までお気軽にお問い合わせください。



書籍紹介（いずれも貸出可能です）

『ワークショップデザイン論—創ることで学ぶ』

山内祐平(著)、森玲奈(著)、安斎勇樹(著)(慶應義塾大学出版会)

『大学生・社会人のための言語技術トレーニング』

三森ゆりか(著)(大修館書店)

『大学のIR Q&A』

中井俊樹(編)、鳥居朋子(編)、藤井都百(編)(玉川大学出版部)

『学生と楽しむ大学教育—大学の学びを本物にするFDを求めて』

清水亮(編)、橋本勝(編)(ナカニシヤ出版)

『ハーバード×慶應流 交渉学入門』

田村次朗(著)(中央公論新社)

『ルポ MOOC革命—無料オンライン授業の衝撃』

金成隆一(著)(岩波書店)

『世界で最もイノベーティブな組織の作り方』

山口周(著) (光文社)



『〈考え、表現し、
発信する力〉を培う
ライティング／キャリ

ア支援』を津田塾大学と連携し、大学間連携共同教育推進事業に申請し採択されたのが平成24年9月。それ以来、地道にライティング支援活動を行ってきました。

直近の例でいうと、1月末に、商学部からの依頼で、【入学前教育】のスクーリング内で、入学予定者を対象としたライティング指導を行いました。

『ライティング』の必要性・重要性の高まりを感じると同時に、ライティング支援関係者が行ってきた活動が浸透してきてることを感じ、ついつい頬が緩んでしまいました。

今後も、『ライティング支援』に対するニーズがどんどん高まり、多くの学生がより良い文章を書けるようになればいいと思います。

ライティング支援が浸透していることを喜んでいる反面、一方で、「字を書く」と言う

事に対して、日本人が持っていた特有の意識が薄れていますのではなくかということを感じています。

パソコンや携帯といったIT機器が普及し、それを利用するのが当たり前となった現在、文字を書く機会は激減しているはずです。

それと同時に、個人差はあるものの、文字を書く時に、読み手の立場に立って、【丁寧さ・美しさ】を追求したり、字を書く時は心を落ち着かせるといった、“日本人特有の心”が、失われてきているのではないかとも危惧しています。

IT機器の普及と日本の文化の継承をうまく両立することが今後の問題になってくるのではないでしょうか。

2020年には東京でオリンピックが開催されます。

先のオリンピック招致委員会においても、日本で開催するメリットをアピールするためには様々なプレゼンテーションがなされまし

た。日本人特有の精神・心が随所に盛り込まれていたと思います。

オリンピック期間には、世界中から多くの方が来日されるでしょう。ひょっとしたら、彼らは、我々以上に、『古き良き日本』を知っているかもしれません。

“日本固有の文化や精神（心）”で世界中の人々をもてなすこと、日本に課された使命なのではないでしょうか。

今後、ライティング支援活動において、テクニック面だけでなく、そういった“日本の文化”的なものを踏まえて支援活動してもらえたなら、なお嬉しいと思っている小姓です。

最後になりましたが、この1年、本当に様々な方にお世話になりました。ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

次年度以降も、微力ながらCTLの活動に尽力していきたいと思っております。

(大)